

「地域と建築」

2018年3月24日(土) (14:30 開場) 15:00 ~ 18:00

金沢学生のまち市民交流館 交流ホール (金沢市片町 2-5-17)

入場無料 (要事前申込)

パネリスト



釜石市復興計画現地踏査



東北大学百周年記念館秋ホール



小野田 泰明

東北大学大学院教授



千鳥文化 © 増田好郎



Umaki camp © 増田好郎

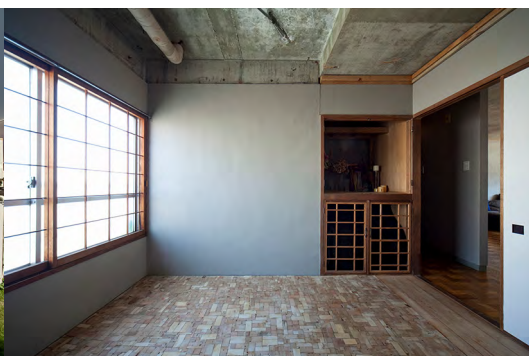


家成 俊勝

京都造形芸術大学准教授 / ドットアーキテクト共同主宰



頭陀寺の壁 © kentahasegawa



渥美の床 © kentahasegawa



辻 琢磨

403architecture[dajiba] 共同主宰

モデレーター

竹内 申一

金沢工業大学建築デザイン学科教授

東京や大阪などの大都市ではなく、地方や地域にこそあたらしい建築が生まれる可能性があるのではないかと、そんな声が多く、建築家から聞かれるようになった。コンパクトな街と経済。現在でも残る地縁。風土に根差した生活文化や人々の日々の振る舞い。土地特有の素材や技術。建築の根拠が求められる現在において、地方や地域は、建築を考えたりつくり出したりする上でのコンテクストや資源に満ちているはずである。一方で、批評的な視点を持たない地域主義は、地域の可能性を閉ざしてしまう危険性をはらんでいる。

今回のシンポジウムでは、様々な地域で魅力的な活動が行われている建築計画学者と建築家をお迎えした。その視点や思考、実践をご紹介頂きながら、地方や地域におけるこれからの建築の可能性について考えたい。



主催・お問い合わせ
公益社団法人 日本建築家協会 北陸支部 石川地域会
石川県金沢市小金町 3-31
TEL: 076-229-7207
メール: mail@jia-hokuriku.org



協力: 株式会社 山岸製作所 **INTERNO**
BY YAMAGISHI